



ひょうごローズクラブ  
Hyogo Rose Club

# Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>

バラにまつわる話	1
ひょうごのバラ園	3
奥深いバラの世界	5
連載「世界の文献に見るバラの話」	6

表紙のバラ “ベーパームーン” (当クラブ理事 寺西菊雄氏 作出)

第5号  
2009.5

# 自然がくれたバラの美しい色と優雅な香りに魅せられて

神戸布引ハーブ園  
副園長 星川 雅子

## バラとハーブと私

神戸布引ハーブ園のバラに包まれる至福のひとつとき、花の美しい色と優雅な香りに魅せられて「バラとハーブ」をテーマにオーナメント創作を行うようになりました。

色と香りを誰かに届けたい。夢や想い、喜びを色と香りに託してみたい。そんな思いで作りはじめたのが、乾燥ハーブとバラ(芳香と色)の組み合わせによる「SWEET SMELL」の世界です。

バラは乾燥させてポプリとして楽しみ、料



バラとクレマチス

理・健康美容など他にもいろいろな処方でも色や香りを楽しむことができます。

私は、バラの色と芳香にハーブを加えることで、更なる手法で楽しみたいと思

っています。それは、乾燥ハーブの持つ特徴「葉効成分」を生かし、香りを持続させ、防腐、殺菌作用に優れた塩との組み合わせによって「色と香り」を表現し、長い間楽しむことができるようなインテリア オーナメントを創作することです。そして、その作品が数か月後、スキンケアとして活用できる「フローラルスキンケアソルト」に生まれ変わることの素晴らしさに感動し、「バラとハーブと塩」に取り組んでいます。

## バラとハーブと塩のマリアージュ

乾燥バラを主としたブレンドには、精油は使用しません。乾燥バラに保留剤として乾



ソルトアレンジメント



ソルト畑のローズ

乾燥ハーブを加え、さらに塩を使用します。

バラとハーブの持つ特質と植物の生育過程の特性を生かして色や香りを採取し、植物の部位(花・茎・葉)が持ついる芳香(fragrance)を大切に、収穫時期を見極めて、色や香りが残るように乾燥させ、そのものが持つ色と香りのハーモニー作りをします。

ところが、季節・天候によって、色や香りに異変が生じるため、色や香りの違いを見極めて香りを組み合わせてブレンドすることで、SWEET SMELL(いい香り)を作り出します。その時初めて五感に届く香りとして感動を覚えるのです。

さて、私の作る乾燥ハーブは、単品でも色や香りの良さを魅せます。なぜ、単品でも色や香りの良さを引き立たせることができるのかというと、乾燥技術によるものです。ポプリには、スパイスや製油を使用せず、乾燥ハーブとバラのみを使用します。また、モイストポ

プリは、塩の持つ特徴を生かし、その特徴に合うハーブとバラを選び、それら全てをブレンドしてしまおうではなく、「色や香り」が「粗塩」と組み合わせる(マリアージュ)ことで色や香りの良さが長く持続するようなソルトアレンジメントを創作します。

乾燥バラや乾燥ハーブの色や香りが3ヶ月から6ヶ月、中には6ヶ月以上持続するうえ、塩の持つ特質によって小さなバラの蕾がじわじわと開花する様と、ラベンダーなどの色が濃くなる様にハーブが持つ特質と塩によって引き出された「色と香り」によるハーモニーに感動を覚えます。やがて、ハーブと塩が馴染みあつて融合する様はとても魅力的で、また、インテリアオーナメントとして利用した後、料理美容に活用できることの素晴らしさを日々感じています。皆様も、スキンケアソルト(バラソルト)を作ってみませんか？



バラとハーブのハーモニー

# バラのジャム

## 豊岡市但東町のバラジャム

豊岡市但東町ではチューリップの球根栽培、バラ苗の生産をしています。春になると色鮮やかなチューリップ、夏には香り豊かなバラの花が山沿いに美しく咲き誇ります。この美しい花は、摘み取られて捨てられてしまう。「花の命は短くて哀れだなあ。食べられないかなあ。昔からバラ酒があるんだから。何か考えたらどうか。」という、専業農家婦人グループの女性たちから、



バラジャム

「花の命は短くて哀れだなあ。食べられないかなあ。昔からバラ酒があるんだから。何か考えたらどうか。」という、専業農家婦人グループの女性たちから、



一輪ずつ手作業でより分ける

「花の命は短くて哀れだなあ。食べられないかなあ。昔からバラ酒があるんだから。何か考えたらどうか。」という、専業農家婦人グループの女性たちから、

## ローズジャム

ブルガリアには「バラの谷」と呼ばれる一大産地があります。ここで栽培されている「ダマスクローズ」と呼ばれる香り高いバラからロ

ーズジャムは生まれました。疲労回復や美肌効果があるといわれ、ブルガリアの人々は古くから健康食として、毎朝スプーン一杯のローズジャムと清涼な水を飲み、健康を祝い尊ばれてきたそうです。

## おいしい食べ方

バラジャム専用のバラ園で摘み取った花びらをジャムにしています。ティーカップの中で花が開くように浮かび上がる花びら、ほのかな香りにともおしゃで癒しを感じます。

## バラジャムの食べ方

- ① ティーカップにバラジャムを入れ、お湯を注ぐだけで、「ローズティー」に。きれいな色のお茶です。
- ② ホットミルクにバラジャムを入れて、「ホットローズミルク」。
- ③ ヨーグルトにバラジャムを混ぜて、「バラジャムヨーグルト」
- ④ バラジャムを生地に練り込み、バラのシフォンケーキに。
- ⑤ 薄い塩味のクラッカーにクリームチーズとバラジャムを載せて。



ローズティー

バラジャムは、下記の場所で販売しています。7月には本年産のバラジャムが店頭に並びます。

販売価格 50g瓶 500円  
230g瓶 1,500円

豊岡市但東町正法寺165  
株式会社シルク温泉やまびこ  
TEL 0796-54-0141

豊岡農業改良普及センター

ひょうごのバラ園  
クローズアップ

# 北播磨余暇村公園

県立北播磨余暇村公園は、播磨地域北部に位置し、雄大な妙見山山麓に色彩り豊かな自然環境に恵まれ、都市と農村地域を結ぶ交流の場として、同時にレクリエーション利用の中心となる公園です。

この豊かな自然を生かした公園は、3つのゾーンから構成され、「冒険の広場」、「観賞ゾーン」、「いこいの森」があります。

その一角をなす「観賞ゾーン」には四季折々の花が咲き乱れ、訪れる人を魅了します。

観賞ゾーンの中央部分を占めるのがバラ園。5月下旬から6月下旬までの春バラの季節には、2,800㎡の広さの40品種720株ものバラが広場を囲むように咲き競い、ふくよかな香りが一面に漂います。

ハイブリッドティーやフロリバンダなどが600本、ツルバラは120本あります。ツルバラはそれぞれの系統により傘仕立て、ポール仕立て、壁仕立て、アーチ仕立てにしてその性質が最大限に発揮できるようにしています。生育状況により毎年数十株の更新を行っています。

夏と冬には剪定セミナーも開かれ、園芸ファンには特に見逃せません。整枝・剪定の目的、剪定の時期、切る枝と残す枝の見極めなどの剪定内容と剪定枝を活かした挿し木のワンポイントも参考になります。セミナー参加者には全員に挿し木用の剪定枝がプレゼントされますのでぜひ参加ください。

最後に北播磨余暇村公園はその名のとおりレクリエーション施設も充実しています。「冒険広場」にある延長253.3mの妙見スカイローラーは、展望台から滑り降りる巨大なすべり台です。童心に返ってチャレンジしてみたいかでしょうか。その他、園内には池を囲むようにしつらえられた日本庭園があり、初夏にはアジサイがきれいに咲いて見事です。



バラ園



日本庭園



滴のように咲き誇るバラ

## バラの見頃

5月下旬～6月下旬

10月下旬～11月下旬

入園・駐車料 無料

ひょうごのバラ園  
クローズアップ

# 神戸布引ハーブ園

神戸布引ハーブ園では約200種75,000株にもものぼるハーブを植えており、訪れる方々に見て、触れて、味わうなど四季折々のハーブを五感で楽しんでいただける公園ですが、園内では小さいながらもテーマに沿ったバラの庭園を作っています。

まず、ロープウェイの最終駅である「布引ハーブ園駅」から展望広場を通過して城門を抜けると、イングリッシュローズの柔らかな色彩と豊かな香りが楽しめる「ローズシンフォニーガーデン」があります。ここではイングリッシュローズを中心とした61種類160株のバラを、「ミルラ(乳香)」「ノワゼット」「フルーツ」「オールドロズ(ダマスク)」「ムスク」「ティー」の6種類の香りに分けてご紹介しています。

標高が少し高いこともあり6月初旬頃から咲き始めますが、うつむきかげんに咲く花に顔を近づけると甘く優しい香りが楽しめます。それぞれの香りの中から、お気に入りのバラを見つけてはいかがでしょうか？

次に、ハーブ園内に入ると音楽にゆかりのあるモダンローズを集めた「ミュージックローズガーデン」があります。例えば、ビゼーが作曲した歌劇とその登場人物にちなんで名づけられた「カルメン」や、1920年代に流行したダンス音楽の「チャールストン」のほか、「ニューアベマリア」「パッパ」など19種類のバラを植え、名前とともに花を楽しんでいただけます。

また当園では、見て楽しむと同時に使って楽しむ身近なハーブとして、バラの花を収穫・乾燥し、花びらの香りを閉じ込めてポプリなどのクラフト材料として利用しています。

神戸布引ハーブ園でバラを楽しむ魅力のひとつは、見ごろを迎えたハーブとともに楽しむことです。神戸布引ハーブ園ではゴールデンウィーク頃からいっせいにハーブが開花を始めますが、バラとともに開花を始めるのがイングリッシュラベンダーです。イングリッシュラベンダーは6月上旬から咲き始め中旬ごろに見ごろを迎えます。またラベンダーの摘み取りイベント(6月6日より毎日13:30~14:30)を開催しますので、バラとラベンダー、ハーブの香りに包まれた園内でゆっくりとした時間をお楽しみいただけます。6月はハーブ園が最も輝きを増す季節です。バラとハーブと神戸市街の眺望を神戸布引ハーブ園で楽しんでみてください。



ローズシンフォニーガーデン



ミュージックローズガーデン



イングリッシュローズ“ザ・ビルグリム”

温暖な淡路島で切り花用バラを栽培する、あわじ岡松ローズの岡松計仁さんを訪問してお話をうかがいました。

# 奥深いバラの世界

その5

あわじ岡松ローズの温室は、淡路市の大阪湾に面した傾斜地の温室団地の中にあり、周囲の温室ではカーネーションが栽培されており訪問した4月下旬には母の日に向けた大量のカーネーションが栽培されていました。岡松さんは、切り花用バラを生産する33才の若手の生産者です。

## バラ栽培に取り組んだきっかけは？

9年前に会社勤めを辞めて、父の経営していたバラ栽培に取り組むようになりました。父からこれと言って教えてもらうこともなく、まさに見よう見まねでバラの栽培を覚えました。

4年前からは父と経営を分けて独立して生産しています。ちなみに父は、徳島県に新しい農場を確保して5千坪(約16,500㎡)でバラの生産をしています。

## 現在の経営規模はどれくらいですか。

400坪の温室3棟計1,200坪(約3,960㎡)の規模で、夫婦と3人を常時雇用して栽培しています。栽培品種は、約20品種で、色別では、赤が1割くらいで、ピンクや白、オレンジ、黄色など様々な色彩のバラを生産しています。

## 独特の仕立て方をしていますが、何という栽培方法ですか。

これは、レベリング法と言って、枝を水平にねじ曲げて切り花本数を多くすると共に、良品質の切り花を安定して生産できる栽培方法です。

## 出荷先はどちらですか。

大阪の鶴見にある、なにわ花いちばにはほぼ全量出荷しています。年中出荷していますが、3月が最も多く次いで9月が多くなっています。最近では、競りで販売するよりも、予約相対での注文の割合が高くなっています。

## バラの生産者として注意していることは何ですか。

キクやカーネーションなどと比べ日持ちが短いので、水揚げの良い日持ちのするバラ作りをめざしています。また、梅雨時など多湿の時にはボトリチス病で輸送中に花が傷むことがあるので、病害虫の管理にも特に注意して栽培しています。



レベリング法による栽培



もごもこローズ

## あわじ岡松ローズのセールスポイントは何ですか。

ブライダルブーケに使われる、もごもこローズというのを生産しています。通常よりも切り花の時期を遅らせ、花卉が発達して花が大きくなってから切るタイプです。そのために、ボリューム感のあるもごもことした感じの切り花です。ピンクや白にグリーンがかかったものを生産しています。

## 今後の目標は。

競りで売るよりも価格の良い市場からの注文で出荷できるようにオリジナルの品種や商品を主体にしていきたいと考えています。そのために育種もしており既に切り花として2品種出荷しています。今後は赤でフリルのあるバラが出来ないかと育種に取り組んでいます。

岡松 計仁 おかまつ かずひと

1975年、東浦町(現、淡路市)生まれ。学校卒業後2年間大阪で会社勤めの後、2001年に帰郷。父の経営するバラ園でバラ栽培に取り組み始める。2005年あわじ岡松ローズとして独立。



# バラ属の交配—近代のバラの種類の増加について

連載  
第5回

## ON THE HYBRIDISATION OF THE GENUS ROSA

著者:ヴィヴィアン=モレル Monsieur Vivian-Morel

出典:英国王立園芸協会誌 1904-1905号 p38-46

JOURNAL OF THE ROYAL HORTICULTURAL SOCIETY 1904-1905 p38-46

# 世界の文献にみるバラの話

今回は英国王立園芸協会誌の1904、1905年号のバラの記事を紹介する。そこにはバラの種類の増加について紹介している部分があり、19世紀に急激に品種の増加があったことがわかる。以下概要を記述する。

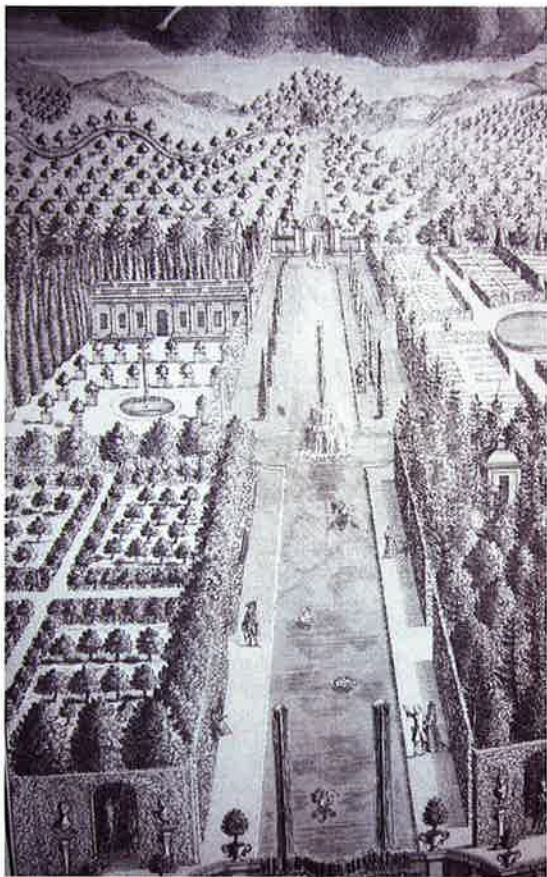
「ヨーロッパやアジアでは古くからバラが栽培されており、詩人や歴史家がバラについて多くを語ってきた。実際のところ我々は古に栽培されたバラについて正確なところを知らないが、その種類はそんなには多く無かっただろう。16世紀の植物学者はごく少数のバラについてしか書いていない。しかも約半分は重である。

その2世紀後でもバラの種類はほとんど増えていない。当時のイギリスの高名な園芸家であるフィリップ・ミラー Philip Miller 注1にも

しバラの野生種について質問したなら、栽培されるバラの野生種は21種としか返事は返ってこないであろう。しかもそのうちの数種は一般的な野バラである。八重咲きのバラについては約30品種があった。

現在、私たちが同様の質問をされたらどうだろう。1829年のフランスのMonsieur R. Desportesは、2562種の野生種や園芸種があると記述している。

しかし、長い間、バラの特に八重咲きの種類数の変化はほとんど無かったのに、近年の品種数の理解に苦しむほどの増加はどうしたことだろう。この増加を生み出す原因は何だろう。バラの世界に何が起こったのだろう。全てはヨーロッパのバラにアジアのバラが交配された結果である。



『キッチン、果樹、花の庭のための園芸事典』  
The Gardener's Dictionary containing the Methods of Cultivating and Improving the Kitchen Fruit and Flower Garden(1731)口絵

注1  
フィリップ・ミラー Philip Miller 1691~1771

チェルシー葉草園で活躍した園芸家で晩年まで働いていた。ミラーの尽力によりチェルシー葉草園はヨーロッパでも有数の植物園になった。特に当時のヨーロッパでは数少ない植物コレクションを見学に来る多くの専門家が訪れている。彼の執筆した園芸書は当時としては最高の園芸事典である。これは『園芸家のための完全版園芸事典』The Gardener's and Florists Dictionary or a Complete System of Horticulture(1724)および『キッチン、果樹、花の庭のための園芸事典』The Gardener's Dictionary containing the Methods of Cultivating and Improving the Kitchen Fruit and Flower Garden(1731)である。

彼の生きた植物の知識は深く、当時の王立協会のメンバーに選ばれている。彼の許からは、キュー植物園の主任園芸家となったウィリアム・エイトン William Aiton やウィリアム・フォーサイス William Forsyth などが巣立った。

彼は当時の植物学者とも交流が深く、分類学者の J.P. トゥルネフォール Joseph Pitton de Tournefort やジョン・レイ John Ray、リンネ Carolus Linneus などと交流があった。リンネはそれまでの分類方法を体系化し近代の植物学の発展の礎を築いた。フィリップ・ミラーは『園芸家事典 1768年版』からリンネの二名法による学名を採用し、園芸書にとっては画期的な出来事であった。



同書バラの説明。  
初版のためバラの記述は合計46種類である。

兵庫  
県立  
淡路  
景観  
園芸  
学校  
主任  
景観  
園芸  
専門  
員  
能勢  
健吉